

茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系とKPI				KPI達成状況		分析と今後の対応
基本目標1 茅ヶ崎の魅力を最大限に活かし「ちがさき愛」あふれるひとを増やします				R1年度末実績	目標値との比較	【分析】 ・ 施策1では一定の進捗がみられるものの、基本目標1の「住み続けたいと思う市民の割合」は目標達成に至っていない住み続けたいという想いの醸成には、施策1に挙げたもの以外の要因が関わっているためと考えられ、住み続けたいという想いの醸成を効果的に実施するため、本市の強み、弱みを的確に把握した上で、対応する取り組みをすることが必要となる。 ・ 施策2～3では目標値を達成している又は一定の進捗があり、基本目標1の「入込観光客数」は平成30年度までは入込観光客数で基準値から一定の進捗がみられたものの、令和元年度はトップシーズンである夏場の天候不良により、基準値を大きく下回っている。 ・ 基本目標1の「転出入者数」は目標値を達成しているが、転入者数は減少傾向にあり、減少幅の抑制が課題となる。 【今後に向けて】 ・ 本市の人口は現在高止まりとなっている状況である。今後の人口減少を前提としつつも、まちの活力の維持にあたっては、定住人口、交流人口といった人の移動の流動性の確保が重要となる。特に、定住人口の確保にあたっては、住み心地の良いまちであることが大切であり、転入者が参加しやすく、茅ヶ崎に馴染んでいく方法を具体化していくことが重要となる。 ・ 一方で、人の移動は感染症のまん延のリスクが懸念されることであり、今後取り組みを推進する場合には、新型コロナウイルスをはじめとする感染症への対応に充分留意した上で実施する必要がある。
●成果目標		現状(基準)値	目標値	58.5%	△(17.7%)	
「茅ヶ崎市に住み続けたい」と思う市民の割合	LP①②関係KPI	55.6%	72.0%	2,573千人	×	
入込観光客数	LP②関係KPI	2,626千人	4,230千人	転入超過(781人)	○	
転出入者数	LP①関係KPI	転入超過(943人)	転入超過維持			
施策1 人々のきずな、支え合いの強化				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI		現状(基準)値	目標値	126名	○	
新規のボランティアの数		1,848名	74名	7.70%	×	
ボランティア活動に参加している市民の割合		15.1%	20.0%	累計172人	○	
長寿社会のまちづくりイメージワークショップ参加者数		0人	累計120人	38件	○	
まちちから協議会の実施事業数(補助事業)		0件	36件			
施策2 地域特性を活かした観光プロデュース				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI		現状(基準)値	目標値	207人	△(51.8%)	
着地型観光コース参加者数		21人	380人	4,575百万円	○	
観光客消費額	LP②関係KPI	2,559百万円	3,700百万円	0	×	
道の駅来場者数		0	70万人			
施策3 茅ヶ崎の魅力を発信するシティプロモーション				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI		現状(基準)値	目標値	512,745件	○	
ホームページ閲覧件数(観光カテゴリ)		441,447件	490,000件	12,887件	○	
移住促進プロモーション動画のアクセス件数	LP①関係KPI	0	8,500件	20件	○	
オリジナルブランド認定件数	LP②関係KPI	0	20件			
基本目標2 若者からシニア世代まで、ライフスタイルと働き方を柔軟に選択できる環境をつくります				R1年度末実績	目標値との比較	【分析】 ・ 施策4～5では新規の事業所、雇用に着目した指標を設定しており、企業等立地促進条例の適用件数を除き、基準値から一定の進捗がみられる。しかし、基本目標2の3指標は全て基準値から減少しており、目標を大きく下回っている。 ・ この要因は増加分以上に、減少分が一定数あるためであり、減少抑制が課題となっている。 ・ 市内事業者数や市内従業者数は新型コロナウイルス感染症による影響で、現時点では実績値に反映はされていないが今後の拡大が推測される。 【今後に向けて】 ・ 新型コロナウイルス感染症の社会の様々な部分への影響を踏まえながら、既存事業所の事業継続に向けた取り組みについても検討する必要がある。
●成果目標		現状(基準)値	目標値	6,724事業所※1	×	
市内事業所数		7,159事業所	7,200事業所	55,805人※1	×	
市内従業者数	LP③関係KPI	63,396人	63,700人	849人	×	
新規就業者数	LP③関係KPI	1,247人	1,600人			
施策4 既存企業支援と働き方の多様化による雇用機会の創出				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI		現状(基準)値	目標値	7.6%	○	
企業説明会、企業見学会等参加者の就職率	LP③関係KPI	5.0%	6.5%	194件	○	
融資制度の新規利用件数		平均79件	100件	112人	△(74.7%)	
女性の就労支援事業所の登録者延人数	LP③関係KPI	0	150名			
施策5 チャンスを捉えた新たなビジネスの創出				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI		現状(基準)値	目標値	104事業所	○	
市内における増加事業所数		75事業所	80事業所	8件/年	×	
企業等立地等促進条例の適用件数		8件/年	15件/年			

注1「※」はR1年度末値が未把握のため、把握できている範囲で直近の値を記入した。

注2 目標値比較の○は目標値を達成しているもの、△は現状値より上昇しているが未達成のもので、カッコ内は目標値に対する達成率を示す。×は現状(基準)値を下回っているものを示す。

茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価

茅ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系とKPI				KPI達成状況		分析と今後の対応
基本目標3 地域全体で若い世代を応援し、安心して結婚・出産・子育てができるまちをつくります				R1年度末実績	目標値との比較	[分析] <ul style="list-style-type: none"> 出産までの取り組みを中心とする施策6は基準値以下だが、出産後の支援等の取り組みを中心とする施策7～8は目標値を達成、又は一定の進捗がみられる。 その結果、基本目標3の目標値の達成率は、施策7～8に関連する「安心して子育てができる環境である」と思う市民の割合が54.9%となっている。施策6に関連する合計特殊出生率は15.2%の達成率に留まっている。 [今後に向けて] <ul style="list-style-type: none"> 安心して出産、子育てができる環境づくりのため、出産後の支援等の取り組みを継続して実施するとともに、出産までを支援する取り組みのあり方について検討が必要となる。
●成果目標						
合計特殊出生率		現状(基準)値	目標値	1.32人※2	△(15.2%)	
「安心して子育てができる環境である」と思う市民の割合		36.7%	50.0%	44.0%	△(54.9%)	
施策6 希望する結婚・出産・子育てを応援する切れ目のない支援体制づくり				※2 H29年度値		
●KPI				R1年度末実績	目標値との比較	
特定不妊治療費助成件数		現状(基準)値	目標値	151件	×	
乳児家庭全戸訪問率		227件	261件	97.5%	×	
有配偶率		97.7%	100.0%	48.2%※3	×	
49.4%				※3 H27年度値		
政策7 ニーズに応じた保育サービス・放課後等の子どもの居場所の充実				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI						
保育園の入園児童数		現状(基準)値	目標値	3,593人	○	
保育園の待機児童数		3,062人	3,380人	5人	△(95.7%)	
育児休業明けに、希望する保育サービスが利用できた保護者の割合		115人	0人	54.20%※4	○	
40.30% 増加				※4 H30年度値		
施策8 地域ぐるみの子育てサポート体制の充実				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI						
地域子育て支援拠点利用者数/年		現状(基準)値	目標値	50,851人	△(20.7%)	
子どもを預かってくれる人の数		42,124人	83,200人	1,045人	△(80.2%)	
903人 1,080人						
基本目標4 豊富な「人財」がいきいきと活躍し、安心して住み続けられる環境をつくります				R1年度末実績	目標値との比較	[分析] <ul style="list-style-type: none"> 施策9～11は、まなびの市民講師自主企画講座の開催数と新体力テストの参加者数で基準値よりも低い実績となっているものの、他は目標を達成又は一定程度の進捗がみられる。 その結果、基本目標の目標値は全て達成している。 [今後に向けて] <ul style="list-style-type: none"> 基本目標4は達成できているため、次期戦略の策定にあたっては、基本目標の再構成を含めて検討する必要がある。
●成果目標						
「住みよい」「まあ住みよい」と感じる市民の割合		現状(基準)値	目標値	90.9%	○	
健康寿命(65歳からの平均自立期間)男性		90.2%	増加	18.92年※5	○	
健康寿命(65歳からの平均自立期間)女性		18.44年	延ばす	21.77年※5	○	
21.22年 延ばす				※5 H28年度値		
施策9 活発な市民活動を活かし、一人ひとりが地域で活躍できる環境の充実				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI						
市民活動団体の登録数		現状(基準)値	目標値	373団体	○	
市民活動推進補助金の相談及び提案事業件数		317団体	360団体	26事業	○	
シニア世代の社会参加のマッチング件数		10事業	20事業	124件	△(41.3%)	
まなびの市民講師自主企画講座の開催数		0	300件	71講座	×	
80講座 115講座						
施策10 ライフステージに応じた住み替えの仕組みづくり				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI						
住まい・空き家の相談窓口の相談件数		現状(基準)値	目標値	183件	○	
0 30件						
施策11 健やかな生活を営み、住み続けられる環境づくり				R1年度末実績	目標値との比較	
●KPI						
フレイル予防チェック参加者数		現状(基準)値	目標値	累計1,356人	△(83.4%)	
新体力テストの参加者数		129人	累計1600人	140人	×	
コミュニティソーシャルワーカー配置地区数		248人	440人	13地区	○	
2地区 10地区						

全体を通して

新型コロナウイルス感染症により、社会の様々な部分でこれまでの前提が変わってきている。次期戦略の策定にあたっては、本評価を踏まえつつも、新しい生活様式の実践に向け国の支援を最大限活用できるよう、柔軟な施策展開に対応できる戦略とすることの検討を要する。